

目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	経済学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.2 教育課程・教育内容
小項目	6.2.1 教育課程の編成・実施方針に基づき、授業科目を適切に開設し、教育課程を体系的に編成しているか。
要素	必要な授業科目の開設状況 順次性のある授業科目の体系的配置 専門教育・教養教育の位置づけ (学部) コースワークとリサーチワークのバランス (院)
小項目	6.2.2 教育課程の編成・実施方針に基づき、各課程に相応しい教育内容を提供しているか。
要素	学士課程教育に相応しい教育内容の提供 (学部) 初年次教育・高大連携に配慮した教育内容 (学部) 専門分野の高度化に対応した教育内容の提供 (院) 理論と実務との架橋を図る教育内容の提供 (専院)

II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 「入門(基礎)」、「標準」、「応用(中級)」、「発展(上級)」といった進捗度別科目の提供を視野に入れたカリキュラム体系を設置し、上位科目の履修者を増やし、KG経済学士力を高める。	→各科目(特に、上位科目)の履修者数と平均点。	D	C	B	B	/
2. 初年次導入教育の充実の一環として、学部ライフデザイン科目を設置し、5年後には1・2年生の大半が履修できるようにする。	→学部ライフデザイン科目の設置。および、その履修者数と平均点。	D	C	B	A	/
3. 経済学専門教育における英語による授業の数を、現在の0科目から5年後に2科目にする。	→英語による授業数。および、その履修者数と平均点。	D	D	D	C	/
		☆				
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→	/	/	/	/	/
	→	/	/	/	/	/

《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	ナンバリングされた科目は2013年度より開講された。上位科目を含めた履修状況の検討は、今後予定する。
目標2	ライフデザイン科目のうち経済学部独自科目、キャリアワークショップ(春学期 履修者選考2年30名)は三井住友銀行の協力を得て実施、キャリアデザインと仕事(秋学期)は、各回種々な企業担当者による講義が行われた。(履修者数2年生506名)
目標3	英語による経済学専門科目については、2014年度開講へ向けて検討を開始した。
備考	